

お客様に寄り添うデジタルビジネスコンサルティングで新しいアプローチ

2021年7月、NTTデータはビジネスデザイン室を新設した。同室は、クライアントのビジネス課題を起点としたデジタルビジネスコンサルティングによって、ビジネス課題の解決に貢献することを目指す。本稿では、ビジネスデザイン室が生まれた背景とミッション等について紹介する。

金融機関の現状とデジタルビジネスコンサルティング需要の拡大

現在、銀行を始めとする金融機関はデジタル活用による既存ビジネスの強化、新たな顧客層の囲い込みや新ビジネスの推進に加え、経営基盤の改善を着実に進めている。銀行法改正により、これまで制限されていたシステム販売やデータ分析等が新たに認められたことから、業務範囲が拡大し、ビジネス部門における戦略的なデジタル投資が増加している。

こうした背景の下、金融機関のビジネス部門（商品・サービス企画部・部門統括部等）からは、経営・事業戦略や、ビジネスモデルの構成要素の構造的な改革に対するコンサル

ティングへの需要が高まっている。

課題の認識からソリューションの導入まで End to End で寄り添う新組織

これまでNTTデータは、クライアントの課題に対し、主にシステム、サービスを提供することで解決を図ってきた。しかし最近ではクライアントのビジネス課題を戦略構想段階から把握し、競合他社に先駆けてデジタルの活用等による解決方法を協働で検討し、解決に導くというアプローチをスピーディに展開する必要がある。

鈴木氏は次のように述べる。「私たちはクライアントのビジネス部門とのビジネスチャンスを十分に活用



株式会社 NTT データ
金融事業推進部
ビジネスデザイン室
室長 鈴木 良和氏

できていなかったといった反省があります。これからは、クライアントの経営目標や事業課題をしっかりと認識したうえで、共に考え、課題解決に貢献したい。そのためには“デジタルビジネスコンサルティングの専門組織”を整備する必要がある。そうした思いからビジネスデザイン室が新設されました。」

今後NTTデータは社内外から人材を募り体制を固めると共に、スピーディに変化する外的環境に適したデジタル活用の在り方を含め、お客様のビジネス構想の立案からソリューションの導入まで End to End でクライアントをサポートしていく。

ビジネスデザイン室のミッション	
デジタルビジネスの専門組織の立ち上げ	・DX推進を含む、デジタルビジネスコンサルティングの専門組織として活動
デジタル戦略策定	・デジタルビジネスへの投資力の高いクライアント・領域を特定し、アプローチする
フロントにおけるデジタルビジネス創発	・クライアントニーズを把握し、デジタルビジネスのディスカバリーとデリバリーを最速で回す体制を仕組化

図1 金融分野の課題とビジネスデザイン室のミッション